



野島断層普及講演会2019

阪神淡路地域の 地震と活断層

日時

平成31年 **1**月 **12**日(土)
13:30~16:00 (開場13:00)

場所

北淡震災記念公園セミナーハウス
(兵庫県淡路市小倉177番地)
☎ 0799-82-3086 FAX 0799-82-3027
【施設概要・交通アクセス】 <http://www.nojima-danso.co.jp>

参加
無料
(申込不要)

国指定天然記念物 野島断層

【講演】

13:40~14:25

「大阪府北部の地震と北海道胆振東部地震」

講師：岡田 真介氏 (東北大学災害科学国際研究所 助教)

14:35~15:20

「阪神・淡路大震災と伏見地震」

講師：寒川 旭氏 (産業技術総合研究所名誉リサーチャー)

15:30~16:00

「大阪府北部地震による淡路市内教育施設の調査報告」

講師：辻野 真照氏 (淡路市教育部次長兼教育総務課長)

主催：淡路市歴史文化基本構想を活用した観光拠点施設形成のための協議会、淡路市、淡路市教育委員会、野島断層活用委員会

後援：兵庫県、兵庫県教育委員会、日本活断層学会

協力：兵庫県立人と自然の博物館、株式会社ほくだん

お問い合わせ

淡路市教育委員会 教育部 社会教育課

〒656-2292 兵庫県淡路市生穂新島8番地
☎0799-64-2520 FAX0799-64-2566

私たちの身近で起こること

2019年1月12日(土) 13:30~16:00 (開場13:00) 北淡震災記念公園セミナーハウス

開催趣旨

兵庫県南部地震から23年目を迎えたこの一年は、国内でも地震が相次ぎ、以前から危険性が指摘されている南海トラフ地震についても関心は高いものです。この講演会では、今後想定される身近な地震やこれらがもたらす被害等をテーマとし、これらに対する知識を深め、それぞれがどうすればよいか、一緒に考えましょう。

講師紹介

演題

大阪府北部の地震と 北海道胆振東部地震

講師

岡田 真介 (おかだ しんすけ)
東北大学災害科学国際研究所・助教



講演要旨

2018年は、6月に大阪府北部の地震、9月に北海道胆振東部地震と立て続けに地震が発生しました。大阪府北部の地震は、都市部で発生したため交通の混乱やライフライン等にも多くの被害がありました。北海道の地震では、広い範囲に斜面災害等が発生しました。これらの地震の震央付近には、活断層が知られていました。講演では、地震の概要や活断層との関係について、地下構造を示しながら解説します。

自己紹介

大阪府茨木市出身。2009年、東京大学大学院理学系研究科博士課程修了、博士(理学)。2009年より産業技術総合研究所 地質情報研究部門 特別研究員を経て、2012年より現職。専門は変動地形学で、特に活断層の地下を、物理探査手法(反射法地震探査や重力探査)を用いて明らかにし、活断層運動にともなった地下の地質構造とその発達史を明らかにしようと取り組んでいます。



活断層の地下構造を明らかにする調査に使われる震源。調査では、道路に沿って小さな地震計を多数配置します。震源から発生させた波が、地下深部で反射して地表に戻ってきた波をとらえることによって地下を可視化します。



佃遺跡(淡路市浦)の発掘調査で見つかった地震痕跡。伏見地震の激しい揺れで液状化現象が発生し、上を被う地層を引き裂いて噴砂が上昇した。

演題

阪神・淡路大震災と伏見地震

講師

寒川 旭 (さんがわ あきら)
産業技術総合研究所名誉リサーチャー



講演要旨

野島断層の活動による1995年の阪神・淡路大震災。1596年には、さらに広い範囲を襲う伏見地震が発生して、京都の伏見城・東寺・天龍寺、神戸の須磨寺、淡路島の千光寺・洲本城などが倒壊しました。そして、京阪神・淡路地域の遺跡発掘現場で、この地震の痕跡が見つかっています。400年の歳月を隔てた2つの大震災について、概要や両者の関係を話します。

自己紹介

高松市出身。1979年東北大学大学院理学研究科博士過程修了(理学博士)。1979年通商産業省工業技術院地質調査所入所。2001年産業技術総合研究所主任研究員。2007年定年退職。学生時代からの専門は活断層。近畿を中心に、野島断層はじめ多くの断層を現地調査。1988年に地震考古学を提唱して、考古学の遺跡に残された地震痕跡を研究。著書は「地震考古学」「地震の日本史増補版」(中公新書)、「秀吉を襲った大地震」(平凡社新書)、「歴史から探る21世紀の巨大地震」(朝日新書)など。

演題

大阪府北部地震による淡路市内教育施設の調査報告

講師

辻野 真照 (つじの しんしょう)
淡路市教育部次長兼教育総務課長

講演要旨

平成30年6月に発生した大阪府北部地震は、最大震度6弱の揺れを観測し、大阪府内を中心に甚大な被害をもたらしました。その中でも、倒壊による被害が大きく、淡路市教育委員会でも淡路市内の教育施設の被害状況調査を実施しました。講演ではこの調査の経緯と対処についてご報告します。